

# 報徳園だより

〒514-0065 三重県津市河辺町 1317-1  
TEL:059-228-1951 FAX:059-228-1952 <http://www.houtokuen.jp/>

題字 理事長 常盤井猷磨

## 「感染者を出さない」ことより 「感染者を早期発見する」こと

園長 千草篤磨

報徳園の入所者のみなさんと職員に対する新型コロナウイルスのワクチン接種が、6月から始まり、今2回目の接種が漸く終わろうとしています。しかし、一般の若い世代の人たちにまでワクチンが行き渡るには、まだまだ時間がかかりそうです。みんながワクチンを接種し、時間や場所の制限もなく、園内で自由に面会ができる日が一日も早くやってきてほしいものです。

また、報徳園では5月末からワクチン接種と並行して、PCR検査を社会的検査として実施してきました。これは厚生労働省が都道府県に対して、「高齢者施設等の従事者等に対する集中的検査」の実施を要請したものです。三重県の高齢者施設や障害者施設への要請は、5月時点で「まん延防止等重点措置」が適用されている7市5町と、それに準ずる津市が対象となりました。

検査は週一回、全職員が各自の唾液を専用の容器に入れ、それをまとめて梱包し、回収に来た検査会社に渡すという流れです。結果は2日後に三重県より連絡が入ることになっています。簡単な方法で苦痛もありませんので、便利です。



今のところ全員が「陰性」です。始めた頃は、「陽性だったらどうしよう」「他の人に申し訳ない」と言う職員もいました。しかし、この社会的検査は、無症状の陽性者を早期発見し、クラスターを発生させないように早期対応するためのものです。陽性者が出たら、「早く分かって良かった」と喜びたいと思います。誰もが感染する可能性があります。「感染者を出さない」ことよりも「感染者を早く発見する」ことの方が重要であり、より現実的です。

定期的な唾液のPCR検査は、簡単便利で大変有効な予防手段だと思います。東京都世田谷区では、昨年秋から区独自でこの検査を継続実施しています。三重県では無料の高齢者施設等に対する社会的検査を8月末まで継続します。できれば、社会的検査の実施をこの先も長く続けていってほしいものです。

## 入所者のみなさんの生活は、 心身の状況に応じて4つのゾーンに分かれています。

### 1丁目

春に職員の異動があり、一丁目の雰囲気が変わりました。最初は利用者さんにも戸惑いがあり、表情も少し固く感じられましたが、今では新しい職員にも慣れて、いつもの笑顔が見られるようになりました。日常生活の中で、利用者さんとレクリエーションを楽しんだり、花の種をまき、一緒に成長を楽しんでいます。また、紫陽花の花を見にドライブにも出かけました。利用者さんの笑顔、いつもと違う表情を引き出そうと、職員みんなで協力しています。この夏に開催される東京オリンピックの観戦、応援は、みんなで楽しみたいと思います。



### 2丁目

この夏から新しく始まった「リモート面会」、最初は驚かれましたが、2丁目は利用も多く、今では身近なものとなり、利用者さんの笑顔が一層素敵なものとなりました。七夕の前には、利用者さんと実習生さんが一緒に七夕飾りを作り、一人一人の願い事を聞き、食べたい物や健康祈願など様々な願いを書いた短冊を笹に吊るすことが出来ました。2丁目としては、これらの願いを叶えられるよう、より明るく穏やかな生活の場を提供していきたいと思っています。



### 3丁目

10年程前に3丁目の利用者さんが植えた枇杷の種が、今年もたくさんの実をつけました。先日収穫し、皆さんその場で手早く皮をむき、美味しそうに次々と食べておられました。最後に職員が「いくつ食べたの？」と尋ねると、涼しい顔で「1個」とのお返事。利用者さんも職員も大笑いしました。コロナのため様々な制限はありますが、これからも日々楽しみを作っていきたいと思っています。



## 4丁目

報徳園には、現場実習のため、短大、専門学校の学生さんたちが来ています。今回4丁目はネパール出身の学生さんでした。利用者さんとの関わりの中で、最初は緊張もあったようですが、すぐに笑顔で話をしていました。学生さんの実習に対する取り組みに感心していますが、それ以上に利用者さんの温かく迎え入れようとする優しさに感動！実習最終日に、学生さんから絵のプレゼントがあり、「上手やな〜」「素敵やな〜」とみんなにっこりでした。



## デイサービスセンター報徳園（認知症対応型通所介護）

7月7日の七夕会に向けて、レクリエーションの時間にみんなで笹飾りを作って、短冊に願い事を書きました。博愛の精神で「世界平和」と書かれた利用者さんがみえましたが、ほとんどの利用者さんは、ご家族の健康と無事を願った言葉を書かれました。いつも寡黙なKさんが「みんな元気で居られますように」としっかりした字で書いてくださり、年長者としてご家族を気遣ってみえる愛情を感じることができました。みなさんの願い事がかないますように！そして一日も早く新型コロナウイルスによる感染が終息しますように！



## 在宅介護支援センター

皆様は「フレイル（虚弱）」をご存じでしょうか。フレイルとは加齢とともに筋力や活力が徐々に低下し、日常生活に困難が生じて介護が必要となる過程、「健康」と「要介護」の間にある状態の事を言います。コロナ禍により、そのような状態に陥ってしまうケースが少なからずあります。フレイル予防には、栄養バランスの良い食事を摂取する・適度な運動を行う・人とのつながりを持つ事が重要です。私たちは、津市が行っている介護予防教室を紹介させていただいたり、予防策を一緒に考えたりする事で、高齢者の皆さんの健康づくりを応援させていただきたいと思っています。





## 入所者インタビュー

山本 きぬ さん (93才)

### ①若い頃はどんな生活でしたか。

飯南町で3人兄弟の長女として生まれました。10才の時に父が亡くなり、兄弟を養うため、小学校を卒業してすぐにバスの車掌として働きに出て、その後も旅館や飲食店で70歳くらいまで働きました。ずっと体を使う仕事をしてきたので、体は丈夫、今でも歩けます。

### ②入所前や報徳園での暮らしはいかがですか。

一人暮らしだけど、友達が多い方で、家に遊びに来てくれたりしていました。ここでは、好きなクイズ番組を見たり、本を読んだり、職員さんの作業を手伝ったり、与えられたことをするのが好きです。ここに来て幸せですよ。皆さんの邪魔にならんかな？これからも長生き出来たらありがたいです。



## 家族インタビュー

山村 芳然子 さん  
(入所者 山村 春子 さん 99才)

### ①入所前はどのような生活でしたか。

絵手紙や大正琴を習ったり、草抜きをしたり、近所の人と話したり。農業をしていたので体を動かす事が好きな母でした。

### ②入所後の春子さんの様子や娘さんのお気持ちはいかがですか。

骨折して車いす生活となり、家で暮らせないと分かっていると思いますが、先日「いっぺん家に帰りたい」と言われ、そんな思いがあるんだと思いました。

### ③報徳園の環境や職員の印象はいかがですか？

皆さんに良くしてもらって有難いです。個室でプライバシー重視より、みんなの顔が見えて、職員さんも他の入所者の方も気にしてくれている、そういう環境が良いと思います。安心して預かってもらっています。



## 地域のみなさんへのインタビュー

高田短期大学キャリア育成学科介護福祉コース

音楽療法士 長谷川 恭子 さん



私は、高田短期大学で勤務しながら定期的に報徳園で音楽療法を行っております。音楽療法とは、受動的・能動的に音楽を用い、心身の健康の維持改善を図る目的があります。音楽療法の中で利用者様が昔懐かしい曲を口ずさむ様子や、その当時を振り返りながらお話されている表情は、普段とはまた違う新たな一面であり、関わっておられる職員の方から驚きの声をうかがいます。職員の方々と共に音楽療法を作りながら、日々のレクリエーションに還元していただけると幸いです。

今後も皆様と楽しい時間を共有していきたいと思っています。

## 医務室より



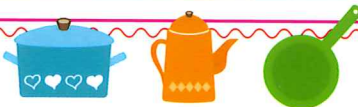
梅雨も明けいよいよ夏本番になってきました。高齢な方の重症化が恐れられている新型コロナウイルス感染症。高齢者入所施設でのクラスター事例も多く発生しております。

報徳園では6月からコロナワクチンの予防接種が始まりました。コロナワクチン予防接種は初めての試みであり、万が一の時に備え入念な準備を行い3グループに分けて接種しました。普段から入所者さんのことをよく知る嘱託医の高橋医師による接種、接種後の観察をして下さったので入所者の皆さんも安心して接種に臨めたと思います。いつもと違った雰囲気や不安な表情をされる入所者さんや、「注射は痛いから嫌い、怖い」とおっしゃっていた入所者さんも接種後、「全然痛くなかったよ」「大丈夫だよ」と笑顔で話され職員も一安心しました。

7月下旬には全ての入所者さんの接種を終える予定です。職員の接種も順次行っており8月上旬に終わります。今後も、気を緩めることなく感染対策に取り組んでいきたいと思っております。そして、1日でも早く安心して暮らせる日が戻ることを願っています。



## 給食業務より



### <食中毒の予防対策>

気温や湿度が上昇する頃になると食中毒が発生しやすくなります。特に高齢者は身体の抵抗力や免疫力が低下していて、食中毒にかかると症状が重くなりやすいので注意が必要です。食中毒を起こす原因は細菌やウイルスが、主に食べ物に付着して体内に入る「経口感染」によって、下痢・嘔吐・腹痛・発熱などを発症させます。さらに高齢者の場合、合併症から脱水症状を引き起こすこともあります。

報徳園では食中毒の予防対策として以下の事に注意して調理を行っています。

- ①加熱調理食品：中心部85～90℃で1分間以上。
- ②器具・容器の洗浄：80℃、5分間以上又はこれと同等の効果を有する方法。
- ③調理後の食品の管理：10℃以下又は65℃以上。
- ④配送過程での温度管理：10℃以下又は65℃以上の適切な温度。
- ⑤調理場、食品保管庫の温湿度：湿度80%以下、温度25℃以下が望ましい。
- ⑥食材受入時の温度管理：適切な温度で納入されているかの確認。
- ⑦手洗いの徹底：食中毒の予防対策で最も重要なのはやはり手洗いです。

以上の事に気をつけて、ご利用者様に安全で美味しい食事の提供を目標に給食業務一同頑張りたいと思っております。



## リモート面会 始めました

昨年より続く新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、面会制限が長引いています。ご家族の皆様には、ご心配とご不便をおかけしております。

当施設においても、地域における発生状況を踏まえながら、検温・消毒・20分以内・マスク着用等々の制限付きの面会を実施していますが、6月12日よりオンラインによるリモート面会も始めました。まだ数名しかリモート面会を行っていませんが、画面越しに県外在住の息子さんの顔を見て名前を呟いたり、自宅の仏壇に向かって手を合わせたり、ひ孫の顔を見て手を振ったり・・・

リモート面会を利用された入所者さんやご家族は終始笑顔で、ある入所者の方は「最近では便利やなあ」と感心されていました。リモート面会は始めたばかりで職員も不慣れなことが多く、ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、ご利用をお待ちしています。



## 新任職員紹介 ～新人職員7名の自己紹介です～



川口 達矢 (介護職員)

6月より介護職員として採用されました、川口達矢と申します。これまでに在宅介護サービスでの勤務経験はありますが、特別養護老人ホームでの勤務は初めてとなります。上司や先輩方にご指導頂き、仕事に慣れ利用者さんにも安心して過ごして頂けるよう心がけて参ります。どうぞよろしくお願い致します。



福増 美佳 (看護職員)

看護職員の福増と申します。私は、今まで急性期や慢性期の訪問看護や老人保健施設など20年以上看護師として働いてきました。今までの経験を活かし、一生懸命精進しますので、どうぞよろしくお願い致します。



西畑 里咲 (介護職員)

3月に短期大学を卒業し、4月から介護職員として所属させていただくことになりました。就職した当初は不安でいっぱいでしたが、職員さんや入所者さんの笑顔に支えられながら毎日楽しく過ごしています。たくさん経験を積み、利用者さん一人一人に合わせた介護職員を目指していきたいと思っております。よろしくお願い致します。



森山 裕希 (看護職員)

7月1日より看護職員として採用されました森山祐希です。総合病院で働いていたため、施設は初めての経験となります。看護師としても3年、まだまだ未経験の事も多く、ご迷惑をおかけしますが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願い致します。



ライ スニタ (介護職員)

4月から報徳園で勤務しているライ・スニタと申します。私はネパールから来ました。利用者さんの介助をするときは、職員同士のチームワークが大切だと感じました。私も利用者さんや職員の方々に信頼していただけのように、毎日多くの事を吸収したいです。報徳園では「在留資格介護」で働く初めての外国人職員ですので、皆さんにご迷惑をおかけすることが多いですが、よろしくお願い致します。



間瀬 由乃 (事務員)

高田短期大学を卒業し、4月から報徳園の事務員として働くことになりました間瀬由乃と申します。事務員として職員や利用者さん、家族さんのサポートをできるように仕事を早く覚えたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



浅野 和恵 (調理員)

以前は小学校や保育園で給食調理員をしておりました。報徳園では、食事の形態が5種類もあり、細かな心配りを感じています。利用者の方々に安全で美味しい食事を提供できるように頑張っていきます。よろしくお願い致します。





## お盆について

武田 英機師（真宗高田派慈相寺住職）

報徳園では毎年8月に初盆法要を勤めます。

真宗高田派本山前法主（当園理事長）の導師のもと本山総務の方にもおいで頂いて、この1年間に先き立たれた方を偲んで、入所者並びに職員が揃ってお勤めをします。

一般にお盆と言いますが、正しくはウラボンといいます。「仏説盂蘭盆経」というお経による行事で、始まりは飛鳥時代で推古14年（西暦606）の記録があります。では、このお経に何が書かれているのでしょうか。釈尊の十大弟子の中に「目連尊者」というお弟子さんがいます。目連は神通第一といわれ、ある時、神通力を使って亡き母がどの世界に生まれ変わっておられるのかを観ました。最初に天上界を探したがいません、次に人間界を、次に修羅界・畜生道と探しましたが母はいません。まさかと思い餓鬼の世界に行くとそこ

に変わり果てた姿の母を発見したのです。目連はなげき哀み、直ちに、鉢に飯を盛って母に供養すると、母は喜んで食べようとしますが、たちまち、その飯は炎となり燃え上がり、どうしても食べるできません。鉢を投げ捨てて泣き崩れる母を観て「どうしたら救うことができるでしょうか」と釈尊に尋ねました。

すると釈尊は「目連よ、母の罪は重い、そなた一人の力ではどうにもならぬ。この7月15日（夏安居の日）に大勢の僧を招いて食物などを供養しなさい。そうすれば布施の功德は大きいから、餓鬼となった全ての人々も同じく救って貰うようお願いすれば自分の母もこの苦難から救われるであろう」と説かれました。釈尊の教えに従った結果、母はたちどころに餓鬼道から天上界に行くことができました。目連は涙を流して大いに喜び踊ったのが盆踊りの始まりだという人がいます。

## 小川ミツエさん 100歳お祝い

大正・昭和・平成・令和と4つの時代を生きてきた小川さん。大正10年7月10日生まれの100歳です。7月のお誕生会も兼ね令和3年7月21日に家族の方達も来園され百歳祝いを行いました。大正10年は三菱電機設立、大日本蹴球協会（後の日本サッカー協会）設立、皇太子裕仁親王（後の昭和天皇）摂政就任、また高田本山が三重県下初の養老院創設と大きな時代の流れを感じさせる年でもありました。踊りが好きだったというミツエさんへのお祝いにと3丁目職員を中心に各丁目より頼もしい助っ人も参加し、盆踊りでお馴染みの津音頭の曲でよさこいを踊りました。コロナ禍のため、2年連続で盆踊りが中止となったので少しでも夏祭り気分も楽しんでもらえたでしょうか？

ミツエさん100歳おめでとうございます。これからもお元気でお過ごし下さるよう職員一同願っています。



# ギャラリー

集会所（仏間）前の廊下の壁は絵画や写真のギャラリーとして、入所者や来園者の和みと癒しの空間となっています。月単位で10作品ほどを入れ替え展示しています。今回は田中重之さんの切り絵と内田政寛さんの写真を紹介します。



きさかた「象湯」（「奥の細道」切り絵）田中重之さん



「石寺の茶畑」（京都府和束町）内田政寛さん

## 令和2年度 決算報告

### 事業活動計算書(要旨)

(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日

勘定科目	決算額
サービス活動増減の部	
収入	
介護保険事業収益	580,072,021
経常経費寄附金収益	4,371,000
その他の収益	0
サービス活動収益計(1)	584,443,021
費用	
人件費	456,046,338
事業費	99,886,815
利用者負担軽減額	37,136,951
減価償却費	0
国庫補助金等特別積立金取崩額	27,849,888
サービス活動費用計(2)	6,413,501
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	614,506,491
経常増減差額(7) = (3) + (6)	△ 30,063,470
特別増減の部	
収入	
借入金利息補助金収益	0
受取利息配当金収益	18,542
その他のサービス活動外収益	9,363,785
サービス活動外収益計(4)	9,382,327
費用	
支払利息	0
その他のサービス活動外費用	5,387,250
サービス活動外費用計(5)	5,387,250
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	3,995,077
経常増減差額(7) = (3) + (6)	△ 26,068,393
特別増減の部	
収入	
施設整備等補助金収益	1,500,000
施設整備等寄附金収益	0
特別増減差額(8)	1,500,000
費用	
基本金繰入額	2,175,253
固定資産売却損・処分損	0
国庫補助金等特別積立金積立額	1,500,000
特別費用計(9)	3,675,253
特別増減差額(10) = (8) - (9)	△ 2,175,253
当期活動増減差額(11) = (7) + (10)	△ 28,243,646

### 貸借対照表(要旨)

令和3年3月31日現在

勘定科目	年度末	勘定科目	年度末
流動資産	305,852,382	流動負債	42,599,899
現金預金	218,742,186	事業未払金	18,751,147
事業未収金	86,649,420	職員預り金	2,049,834
前払費用	460,776	貸与引当金	21,798,918
固定資産	594,040,519	固定負債	49,186,003
土地	196,588,016	退職給付引当金	49,186,003
建物	228,210,212		
その他の固定資産	169,242,291	負債の部合計	91,785,902
純資産の部		純資産の部	
土地	74,745,000	基本金	680,558,876
建物	13,735,920	国庫補助金等特別積立金	67,399,865
構築物	7,403,508	次期繰越活動収支差額	60,148,259
機械及び装置	0	(当期繰越活動収支差額)	△ 28,243,646
車両運搬具	3,165,055		
器具及び備品	21,006,805		
退職給付引当資産	49,186,003		
資産の部合計	899,892,901	負債及び純資産の部合計	899,892,902

※決算書類等は膨大なため、報徳園事務所にて閲覧ができますので、担当職員まで申し出てください。

## 花火大会

7月9日（金）夕方7時より報徳園の園庭にて花火を打ち上げました。毎年、屋外行事の祇園会で花火を上げています。昨年は、近隣の「こどもの杜ゆたか園」のお泊り保育に合わせて打ち上げる予定でしたが、コロナの影響もあり、お泊り保育も祇園会花火大会も中止となりました。今年も祇園会やお泊り保育はできませんでしたが、入所者と園児との交流の一環として花火だけを打ち上げることにしました。予定の時間になると入所者の方も園庭まで足を運び、花火を楽しまれました。

一方、保育園では年長児の思い出づくりのイベントが行われており、皆でカレー作りや盆踊りを楽しみ、終了間際に見えた打ち上げ花火に子ども達は大喜び。親子で花火を楽しんでいました。



## 畑クラブ

畑クラブは、11名の職員で運営しています。活動目的は、農作業を通して職員同士が繋がり合う事です。駐車場の一角を各職員が借りて、思い思いの活動(農作業)をしています。土に触れ、作物が生長する過程を感じると、心と身体が癒されます。モグラやうり坊(インシシの子ども)にも会えます。



## 編集後記

今回の報徳園だより、いかかでしたか？初めは「何を書くの？」と緊張でいっぱいでしたが、回が進むにつれ、少しずつ慣れる事が出来ています。早くも「記事がマンネリ化しないように」という声も聞かれました。皆さんに「発行が楽しみ」と言ってもらえるよう取り組んでいきたいと思ひます。